



## 「山口県公共交通教室の取組について」

山口県商工労働部交通政策課

山口県では、県民の皆様に公共交通を身近に感じていただき、その役割と必要性について学ぶことで利用促進につなげていく取組として、交通事業者、市町、運輸支局と連携し、バスの乗り方教室を中心とした「公共交通教室」を実施しています。

学習プログラムは、実際に車両を使った乗車体験をベースとして、マナー、バリアフリー、環境問題、交通安全について学び、考えていただく内容で構成しており、参加者に高い評価をいただきながら、現在では年約2,000名が参加する規模に広がっています。

公共交通の利用は「バスに乗ったらおしゃべりをしない」「席を譲る」等、子供の社会性を養うことができることから、小学校の授業での開催が増えており、学校によっては、乗り方の学習後に、実践として路線バスで社会見学や遠足に行くなど、活発な取組が進んでいます。

その他、地域イベントや高齢者サロン、子育てサークルでの開催も積極的に展開し、様々な利用者層への浸透を図っています。

教室の取組は、利用者には、公共交通は地域にとって必要不可欠なものであり、まちづくりの基盤となっていることを知るきっかけとなり、また、交通事業者、行政には、直接利用者と触れ合うことで、業務改善点の発見や交通に携わる責任と誇りを自覚できる貴重な機会となっています。

「公共交通教室」を通して、利用者、事業者、行政が、それぞれにできることを考え、行動し、連携する体制を構築しながら、公共交通の利用促進を図っていきたいと考えています。